

研究・調査報告書

報告書番号	担当
173	滋賀医科大学社会医学講座福祉保健医学部門
題名 (原題/訳)	
<p>Positive alcohol expectancies partially mediate the relation between delinquent behavior and alcohol use: generalizability across age, sex, and race in a cohort of 85,000 Iowa schoolchildren.</p> <p>プラスのアルコールへの期待感を有すると非行と飲酒が結びつくことがある：アイオワ州の85000人の生徒のコホートにおける年齢、性、人種を超えた一般化の可能性</p>	
執筆者	
Meier MH, Slutske WS, Arndt S, Cadoret RJ.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Psychol Addict Behav. 2007 Mar;21(1):25-34.	
キーワード	
少年非行、alcohol expectancies (アルコールへの期待感)、飲酒、年齢・性・人種差、青年期	
要旨	
<p>目的： アルコールに対する Positive なイメージ Alcohol expectancies (アルコールへの期待感) の程度が少年非行と飲酒の関係を調整するかどうか、また、年齢や性、人種がこの関係に影響を与えるかどうかを明らかにする。</p> <p>方法： Iowa の 6 年生、8 年生、11 年生の生徒 85301 人を対象に Alcohol Expectancy Questionnaire-Adolescent Form から引用した 10 項目の質問及び 7 項目の非行に関する質問を実施し、その結果から非行と飲酒におけるアルコールへの期待感の影響を、回帰分析を用いて評価した。</p> <p>結果： プラスの alcohol expectancies (アルコールへの期待感) が非行と飲酒の関連を媒介することが (飲酒開始、過去 1 ヶ月の飲酒、過去 1 ヶ月の過度の飲酒) 全対象者においてまた各年齢別、性別、人種別にも認められた。年齢と人種によって、程度は異なったが、性差は認められなかった。このことから非行、プラスの alcohol expectancies (アルコールへの期待感) とアルコール中毒との関連が若年者より年長者で強く、また人種差 (白人、アフリカ系アメリカ人、アメリカ人、アジア人、スペイン人) があるが、少年、少女では異なることが示唆される。</p> <p>結論： プラスのアルコールへの期待感を有すると、非行と飲酒が結びつくことがあることが認められた。</p>	